

令和3年度 事業実績

(公益目的事業)

I	常設展示	P. 1
II	特別展示	P. 5
III	資料収集	P. 7
IV	資料管理・保全	P. 8
V	調査・研究	P. 9
VI	図書室等の運営	P. 11
VII	教育普及	P. 11
VIII	施設維持管理・貸出等	P. 21
IX	広報事業	P. 23

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、本館は令和3年4月25日から5月31日まで、分館（江戸東京たてもの園）は令和3年4月1日から5月31日まで及び令和4年1月11日から3月21日まで臨時休館した。

I 常設展示

1 本館

(1) 常設展示

- ① 5・6階の常設展示室（8,934㎡）において、定期的な展示替えを計23回行い、常時約2,000点の資料を展示するとともに、学芸員の研究成果を反映させた企画展を実施した。企画展や常設展示各コーナーで開催する特集展示を実施した。また、常設展の賑わい・楽しさを演出した「えどはく寄席」、テーマ性を持って展示解説をする「ミュージアムトーク」を定期的に開催した。外部機関と協力した企画展として、「発掘された日本列島2021」展（文化庁と共催）、「徳川一門 一将軍家をささえたひとびと」展（公益財団法人徳川記念財団と共催）を開催した。

〔常設展観覧者実績〕

区分	令和3年度(A)	対前年比(A/B)	令和2年度(B)
一般	146,743人	141.2%	103,896人
学生	12,268人	123.6%	9,929人
高校生、都外中学生	9,595人	126.1%	7,610人
65歳以上	20,277人	146.4%	13,846人
無料観覧者 (小学生、都内中学生、 教育活動、視察等)	150,737人	199.1%	75,716人
合計	339,620人	161.0%	210,997人
開館日数	277日	107.8%	257日
1日あたり観覧者数	1,226人	149.3%	821人

(2) 企画展

東京都江戸東京博物館のミッションに沿った企画展を5回実施した。

- ① 市民からのおくりもの2020—令和元年度 新収蔵品を中心に—

会 期 令和3年4月1日（木）～4月24日（土）

会 場 常設展示室 5F 企画展示室

主 催 東京都 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館

内 容 当館が新たに収蔵した資料を公開する展覧会である。令和元年度は、8代将軍徳川吉宗が1745年（延享2）に徳川家康百三十回忌の法要を盛大に営んだ時の行列を描いた華麗な絵巻「紅葉山人講法会図巻」ほか、寄贈資料を含め多数の資料を当館の収蔵品に加えることができた。資料をご寄贈くださった方々への感謝の意も込め、代表的な資料を展示した。

（令和2年度から継続 3月9日～3月31日）

担 当 事業企画課資料係

- ② 発掘された日本列島2021

会 期 令和3年6月5日（土）～7月4日（日）

会 場 常設展示室 5F 企画展示室

主 催 文化庁、東京都、東京都江戸東京博物館、東京新聞、全国新聞社事業協議会

協 力 全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会、全国埋蔵文化財法人連絡協議

後援 会、公益財団法人元興寺文化財研究所、共同通信社
 内容 全国史跡整備市町村協議会
 文化庁との共催で、最新の発掘調査の成果を公開する巡回展。42 遺跡、約 630 点の出土品等を展示した。
 今年度から新発見考古速報に加え、「我がまちが誇る遺跡」と題した新企画を立ち上げ、継続的な発掘調査の成果に基づく地域研究によって明らかになった「地域の特性や魅力」を紹介した。初回は、千葉県市原市、広島県福山市、山口県山口市を取り上げた。また、特集「記念物 100 年」の展示も行った。
 地域展は「江戸の金箔瓦」の展示を行った。
 担当 事業企画課展示事業係（西村直子、熊谷紀子）

③ 相撲の錦絵と江戸文化

会期 令和 3 年 7 月 17 日（土）～9 月 5 日（日）
 会場 常設展示室 5F 企画展示室
 主催 東京都 東京都江戸東京博物館
 協力 公益財団法人日本相撲協会 相撲博物館、
 独立行政法人 日本芸術文化振興会
 内容 江戸時代、相撲観戦は庶民の娯楽としてひろまり、プロ力士集団の活躍により、18 世紀末頃に隆盛を極めた。この頃、黄金期を迎えたのが、多色摺の木版画「錦絵」。役者絵や美人画の発展にともない、それまでの画一的で素朴な相撲版画から力士ごとに異なる体形や顔の特徴を捉えた相撲錦絵が登場する。
 相撲博物館と国立劇場の協力を得て、相撲錦絵を中心に江戸の相撲の多彩な魅力を紹介した。
 担当 事業企画課展示事業係（春木晶子）

④ ひきつがれる都市の記憶－江戸東京 3 万年史－

会期 令和 3 年 9 月 18 日（土）～12 月 5 日（日）
 会場 常設展示室 5F 企画展示室
 主催 東京都 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館
 内容 今日の東京は何千年、何万年という歴史の中でつくりあげられた。人類がこの地で生活していた痕跡が見つかる旧石器時代は、3 万年以上前までさかのぼる。旧石器時代から現代まで、東京が歩んできた歴史を当館所蔵の資料で紹介した。
 高輪築堤の出土や日本橋の首都高地下化など、最新の情報も盛り込んだ内容とした。
 担当 事業企画課展示事業係（津田紘子、橋本由起子）

⑤ 徳川一門 ー将軍家をささえたひとびとー

会期 令和 4 年 1 月 2 日（日）～3 月 6 日（日）
 ※3 月 31 日まで会期延長
 会場 常設展示室 5F 企画展示室
 主催 東京都 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館、
 公益財団法人徳川記念財団
 内容 公益財団法人徳川記念財団が所蔵する徳川家ゆかりの品々を紹介する展

覧会。

長き戦乱の世に終止符をうち、慶長8年（1603）に江戸幕府を開いた徳川家康。以降、260余年にわたって泰平の世が続いた江戸時代は、家康を始祖とする徳川将軍家の治世によってもたらされた。この徳川将軍家は、どのように築き上がられたのか。

この展覧会では、将軍家を支えた徳川のひとびとの活躍を紹介した。

担 当 事業企画課展示事業係（齋藤慎一、秋間敬代）

2 分館（江戸東京たてもの園）

（1） 野外収蔵（分館）

「江戸東京たてもの園」において、現地保存が不可能な文化的・歴史的価値の高い建造物を移築・復元し、保存・展示する。さらに、復元建物の内部では生活民俗資料の展示を行うとともに、町並みを再現・創造し、優れた建築文化の理解に役立つ展示を行う。また、四季折々の行事や遊び、伝統工芸の実演を行う。

〔入園者実績〕

区 分	令和3年度(A)	対前年比(A/B)	令和2年度(B)
一 般	55,368人	102.3%	54,137人
大学生・専門学校生	6,726人	143.2%	4,696人
高校生、都外中学生	1,408人	129.2%	1,090人
65歳以上	10,366人	106.3%	9,754人
無料観覧者 (小学生、都内中学生、 教育活動等)	42,184人	135.7%	31,094人
合 計	116,052人	115.2%	100,771人
1日あたり観覧者数	580人	103.6%	560人

※開園日数 令和3年度：200日、令和2年度：180日

① 収蔵建造物の展示

- ・30棟の復元建造物内の展示により、江戸東京の生活や商いの諸相を明らかにする。
- ・季節ごとに演示品や建具の展示替えを行った。

② 情景再現事業

来園者に復元建造物の歴史的価値をより深く理解いただくため、季節ごとの催しとして、春「こどもの日イベント」、夏「下町夕涼み」、秋「紅葉とたてものライトアップ」などの催事を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、「紅葉とたてものライトアップ」「成人の日はたてもの園へ」のみ実施した。

・紅葉とたてものライトアップ

内 容 園内の色づく木々や建造物にやわらかな光を当て、夜のたてもの園という非日常的空間を演出した。

期 間 令和3年11月20日（土）・21日（日）

会 場 園内全域

参加者数 5,531人（当日来園者）

・成人の日はたてもの園へ

内 容 新成人をお祝いし、園内での人力車乗車体験や復元建造物「常盤台写真場」での記念撮影を実施した。

期 間 令和4年1月10日（月・祝）

会 場 園内全域

参加者数 998人（当日来園者）

・伝統工芸の実演

内 容 復元建造物内で、現代東京に伝わる各種の伝統工芸の製作実演を行い、職人の手わざを体感できるようにした。

実施項目 江戸表具／竹工芸／江戸すだれ／表具／つまみ簪／江戸指物／東京手描友禅／東京三味線／牙彫／鼈甲眼鏡／木版染め／村山大島紬／和裁／螺鈿蒔絵／江戸文字提灯／市松人形／江戸扇子／鍔金具工芸／江戸木彫刻／江戸表具／東京洋家具（木工）／紋章上絵／東京仏壇／江戸表具

期 間 令和3年6月～令和4年3月のうち20日間

会 場 江戸東京たてもの園 植村邸、川野商店他

※臨時休園中であった4・5月の実演は、再開園した6月と7月に実施日を変更し、一月2回（4日間）開催とした。臨時休園中の2月と3月は3月27日・28日に日程を変更（1日4名×2日間）して開催した。

・綱島家年中行事

内 容 世田谷区岡本に立地していた復元建造物「綱島家」を舞台に、農家の年中行事を再現した。

実施項目 梅干しづくり／盆、梅の土用干し／十五夜飾り／十三夜飾り／大根干し／小正月／繭玉飾り／節分

期 間 令和3年4月～令和4年3月

会 場 江戸東京たてもの園 綱島家他

・ちょっと涼しいたてもの園

内 容 伝統的な「涼」のとり方から、ミストシャワーまで、暑い夏をのりきる暮らしの工夫を体感できるよう演出した。

実施項目 夏仕様の建具／風鈴の展示／グリーンゲートの設置／ミストシャワーなど

期 間 令和3年7月20日（火）～9月5日（日）

会 場 江戸東京たてもの園 川野商店、花市生花店、西川家別邸、八王子千人同心組頭の家他

③復元建造物の管理・保全

復元建造物の日常的な点検、復元建造物の修繕工事、建造物の燻蒸、展示清掃、襖・障子・畳の替え工事及び劣化調査等を実施した。

④教育普及事業【ミュージアムトーク】

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から休止

⑤教育普及事業【スクールプログラム】

「昔暮らし体験」「職場体験学習」等を実施した。

・昔暮らし体験

園内茅葺き民家内などでの囲炉裏・火鉢の見学や、各復元建造物での昔の道具探しなどを実施した。

参加人数 5校 505人

・職場体験学習

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から受入を休止

・教員研修

参加人数 12校 24名

⑥その他の事業

【ビジターセンター展示】

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から休止

【東京大茶会 2021】

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止

(2) 展覧会

①「ぬくもりと希望の空間～大銭湯展」3期

会期：臨時休園により中止

※当初予定：令和3年2月27日（土）～5月30日（日）83日間

（うち令和3年度は53日間）

内容：たてもの園に移築された子宝湯から東京型銭湯の独自の様式と展開を紹介した。前年より引き続き、会期を4期に区切り、構成や内容、展示資料に変化を加えながら実施した。3期は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から臨時休園となり開催は叶わなかった。

②「ぬくもりと希望の空間～大銭湯展」4期

会期：令和3年6月26日（土）～9月12日（日）71日間

入園者数：25,321人

内容：4期では、京都の銭湯にあったガラス絵資料の初公開として、資料調査で協力を得た京都市内の銭湯の様子とあわせて紹介し、来園者が地域による銭湯の特色や多様性への理解を深める機会とした。

③「縄文2021—縄文のくらしとたてもの—」

会期：令和3年10月9日（土）～令和4年3月31日（木）令和3年度：85日間

（令和3年10月9日（土）～令和4年5月29日（日））

※令和4年1月11日～3月21日は臨時休園のため休止

内容：本館で開催した「縄文2021—東京に生きた縄文人—」と連動した展覧会。園の展示では、継承している旧武蔵野郷土館資料を活用し、縄文の暮らしぶりを紹介したことに加え、建築の博物館として日本各地で復元されている竪穴住居の主なものを取り上げた。また園内には復元縄文住居を制作、その制作過程を映

像で紹介し注目を集めた。さらに関連事業として園内初となるYouTubeでのライブ配信イベント「ギモン！質問！じょうもん教室」を実施し、縄文の魅力を多くの方々に伝えることができた。

入園者数：70,408人

Ⅱ 特別展示

「3T戦略」(Target 対象入館者、Timeliness 時宜、Top of sales point 目玉資料)のもと、様々なテーマでの展覧会を計4本開催した。そのうち2本は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から令和2年度に延期とした展覧会で、コロナ禍のなかではあったが国内外の博物館と調整をしながら無事に借用・展示をし、特別展実施を行うことができた。

運営面では、海外博物館のコレクション展及び関連事業の実施で来場者層の拡大を図るとともに、2本の特別展において、展示会場をオンラインで観覧できるヴァーチャルリアリティ (VR) の制作・公開を行い、展覧会鑑賞の新たなモデルを構築した。

令和3年度の特別展は、延べ計80,634人の観覧者を迎えることができたが、新型コロナウイルス感染症の拡大等により33日間の会期を短縮した。

1 特別展「国立ベルリン・エジプト博物館所蔵 古代エジプト展—天地創造の神話—」

期 間	令和2年11月21日（土）～令和3年4月4日（日）108日間 ※うち令和3年度分は 4日間
会 場	1階 特別展示室
主 催	公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館、ベルリン国立博物館群エジプト博物館、朝日新聞社、日本テレビ放送網、東映
後 援	ドイツ連邦共和国大使館
協 賛	野崎印刷紙業
内 容	世界有数の古代エジプトコレクションを誇る、ベルリン国立博物館群の収蔵品から「神々の世界」「ファラオたち」「最後の審判」などをテーマとした作品を選び、従来にはない「古代エジプト神話」に焦点を当てた。アニメーションなどにより神話の世界を疑似体験できる演出を行い、個性的な造形美を成す作品等を通して壮大な文化を体感できる展示を行った。さらに、都市博物館である当館で、東京の姉妹友好都市・ベルリン国立博物館群の所蔵品を展示することで、両都市のさらなる友好と信頼の進展に寄与した。
観 覧 料	一般1,800円、大学・専門学校生・65歳以上1,440円、小・中・高校生900円
入場者数	144,267人（1日平均 1,336人） ※うち令和3年度分は 12,556人（1日平均 3,142人）
担 当	杉山哲司、岩崎 茜（事業企画課展示企画係）

2 特別展「富嶽三十六景への挑戦 北斎と広重」

期 間	令和3年4月24日（土）、6月1日（火）～6月20日（日）19日間 （当初予定 令和3年4月24日（土）～6月20日（日）52日間）
会 場	1階 特別展示室
主 催	公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館、朝日新聞社

内 容 「富嶽三十六景」全 46 点を始めとした北斎と広重の著名な浮世絵版画や版本等を展示し、館蔵資料の魅力を発信した。新型コロナウイルス感染拡大による一時事業休止期間中も VR（日英）により展覧会をオンラインで鑑賞できる環境を提供した（総閲覧数 33,333 件（日本語 16,186 件・英語 17,147 件））。2 人の日本の風景面を代表する浮世絵師と作品の関係をテーマとした展示内容について、好評を博した。

観 覧 料 一般 1,000 円、大学・専門学校生・65 歳以上 800 円、小・中・高校生 500 円

入場者数 14,816 人（1 日平均 780 人）

担 当 小山周子（都市歴史研究室）、岩崎 茜（事業企画課展示企画係）

3 特別展「大江戸の華－武家の儀礼と商家の祭－」

期 間 令和3年7月10日（土）～9月20日（月・祝） 67日間

会 場 1階 特別展示室

主 催 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館、読売新聞社、

内 容 都市江戸に暮らした武家や商人・町人の儀礼、祭礼、婚姻など、「ハレ」の場面や舞台に注目し、活発にして明るい江戸のすがたを明らかにするこれまでにない特別展を実施した。

当館所蔵資料の優品・初出品の資料を中心に展示を構成することで、「江戸博コレクション」の価値を高め、華やかで大きな資料を重点的に展示した。本展も VR により展覧会をオンラインで鑑賞できる環境を提供した（総閲覧数 7,879 件（日本語 6,514 件・英語 1,365 件））。

観 覧 料 一般 1,400 円、大学・専門学校生・65 歳以上 1,120 円、小・中・高校生 700 円

入場者数 14,219 人（1 日平均 212 人）

担 当 齋藤慎一（事業企画課展示事業係）、小酒井大悟、川口友子（事業企画課展示企画係）

4 特別展「縄文2021－東京に生きた縄文人－」

期 間 令和3年10月9日（土）～12月5日（日） 50日間

会 場 1階 特別展示室

主 催 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館、朝日新聞社、NHK

内 容 東京都埋蔵文化財センターと国立歴史民俗博物館の特別協力により、「東京の縄文」をテーマとした東京都における 30 年ぶりの展覧会を開催し、縄文時代を生きた人々の「生」の暮らしぶりを伝える展覧会とした。

これまで江戸東京の様々な暮らしや文化を歴史資料に基づいて復元・再現してきた江戸東京博物館（本館）の実績を活かして、縄文時代の出土品が使用されていた生活空間や道具の実際の使用を復元・再現した展示とした。

観 覧 料 一般 1,300 円、大学・専門学校生・65 歳以上 1,040 円、小・中・高校生 650 円

入場者数 39,033 人（1 日平均 781 人）

担 当 田原昇、岩崎茜（事業企画課展示企画係）

Ⅲ 資料収集

1 資料収集

貴重な文化遺産を継承していくため、東京都と調整を図りながら厳選した資料収集を行った。

令和3年度は、資料収蔵委員会（収集部会・評価部会）を令和4年2月3日に1回開催し、購入・寄贈資料を付議した。

(1) 令和3年度資料収集点数 (単位：点)

区 分	購 入	寄 贈	その他	計
標 本 資 料	331	247		578
図 書 資 料	561	0	6,388	6,949
映像音響資料	0	973	2	975
合 計	892	1,220	6,390	8,502

(2) 主な収集資料

[主な寄贈資料]

分 類	資 料 名
考 古	軒丸瓦（武蔵国分寺出土）
生活民俗	籠桶
生活民俗	関東大震災で溶けた硬貨
生活民俗	戦争で折れ曲がった鉄骨
書 跡	田中不二麿墓誌拓本

2 資料制作

「矢作橋杭震込図」1点の複製を制作した。

3 収蔵品の購入

常設展・企画展・特別展に有効に利用される資料、及び利用頻度が高く保全面で留意する必要がある資料を優先し、資料総体の消耗を防ぎつつ、魅力ある博物館運営が図れるよう、資料を購入した。

[主な購入資料]

分 類	資 料 名
絵画	大願成就有ヶ瀧縞 金太郎と鯉つかみ
絵画	源氏後集余情 第十四の巻 葵
絵画	昭和大東京百図絵版画 第二十七景 五月のスポーツ・シーズン神宮外苑
生活民俗	刺子半纏 町火消は組町頭所用
印刷物	日本橋凱旋門

IV 資料管理・保全

1 資料管理・保全

(1) 資料の修理

5点の修理を行った。

〔内 訳〕

資料分類	点数
標本資料	5
絵画	2
工芸品	2
文書類	1
典籍	0
生活民俗	0
映像音響資料	0
図書資料	13

(2) 資料の収蔵

令和4年3月末日現在、610,075点（データ点数）を収蔵、管理している。

【内 訳】

標本資料	303,445点
映像音響資料	42,459点
図書資料	264,171点

(3) 資料の貸出

令和4年3月末日現在、博物館等の依頼に応じて、11件（99点）の資料を貸し出した。

(4) 寄託資料の更新

2件の寄託資料の更新を行い、1件（蜷川式胤関係資料）の寄託資料を返却した。

2 コンピュータシステムの運営

資料の収集から資料の各種事業(常設・企画展示、調査研究、資料のメンテナンス、貸出等)への活用までを支援するとともに、来館者に対して図書室の端末等により資料の情報を文字と画像で提供するため、コンピュータシステム(資料情報システム)の管理及び運用を行った。

V 調査・研究

1 都市歴史研究室における研究テーマ

(1) 年間特定研究「外からみた江戸東京」

- ①外国人がみた江戸東京
- ②地方人がみた江戸東京

(2) 共同研究

在外日本コレクションの所在調査（国立歴史民俗博物館との共同研究）

2 書籍の編集・刊行

(1) 『東京都江戸東京博物館紀要 第12号』の刊行

発行年月日 令和4年3月11日

発行部数 1,300部

構成

1. 朴美姫「【資料紹介】葛飾北斎の『絵本隅田川兩岸一覽』について—描かれた隅田川の名所を読み解く—」
2. 小山周子「歌川広重画「江都勝景」シリーズ—「名所江戸百景」へ至る都市の描写について」
3. 早川典子「菊竹清訓設計の江戸東京博物館について」
4. 友野千鶴子「【調査報告】隅田川の花見と屋台調査」
5. 鳥越千尋「【事業報告】江戸東京博物館における収蔵品システム更改の事例報告—図書資料管理の立場から」
6. 小酒井大悟「安政江戸地震にみる鹿嶋屋東店の施行—安政二年十月「地震并類焼手当覚」から—」

(2) 『江戸東京博物館史料叢書13 新古改撰誌記2』の刊行

発行年月日 令和4年3月4日

発行部数 700部

構成

凡例

新古改撰誌記 卷之五

新古改撰誌記 卷之六

新古改撰誌記 卷之七

新古改撰誌記 卷之八

人名索引

(3) 『東京都江戸東京博物館調査報告書 第35集 モース研究』の刊行

発行年月日 令和4年3月4日

発行部数 950部

構成

小林淳一「モースとピーボディ・エセックス博物館の成立」

岡塚章子「モースとともに来日したビゲローの写真コレクションならびに写真にかかわる活動について」

小山周子「モース・コレクションの初期の形成過程—モース自筆収集目録より」

木村早霧「書簡から見るモースと日本人の交流」

VI 図書室等の運営

博物館資料として収集した図書の保存及び来館者への閲覧、レファレンスサービスを行った。

新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う本館の臨時休館により、令和3年4月25日から5月31日まで休室した。

大規模改修工事に伴う図書移動のため、令和3年10月から12月にかけて全体的な蔵書点検を実施した。また、令和4年1月以降は、移動に伴う梱包作業のため閉架図書の閲覧を一部制限し、3月14日から3月31日まで休室した。

1 図書室利用状況

入室者数	17,933人
閉架図書請求数	1,841冊
マイクロフィルム請求数	69件
国立国会図書館デジタル化資料送信サービス対応数	4点
図書複写申請数 (モノクロ)	6,293枚
図書複写申請数 (カラー)	478枚
マイクロフィルム複写申請数	2,010枚
国立国会図書館デジタル化資料送信サービス複写申請数	3枚
レファレンス対応数	740件
インフォメーション対応数	926件
WEB-OPAC検索利用数	4,524,912件
ALC検索利用数	117,558件

2 夏休み！こども歴史学習相談

夏休みの自由研究や調べ学習に関するレファレンス対応を図書室で行った。実施にあたっては専用書架を設け、「しらべ案内」リーフレットおよび図書リストを作成し、事前周知を行った。

期 間 令和3年7月17日（土）～8月31日（火）

対応人数 250 人

3 図書室内ミニ展示

図書室が所蔵する資料から、話題性のあるテーマで特集展示を計4回行った。

展示テーマ	会 期	担 当
幕臣 渋沢栄一と将軍 徳川慶喜	4月1日～6月30日	栗原智久（司書）
江戸時代南蛮菓子事情	7月1日～9月30日	濱岡智子（司書）
日本考古学の“はじまり”を知る。	10月6日～12月19日	鵜城今日子（司書）
『江戸東京博物館 NEWS』のあゆみ	1月5日～3月13日	井上美奈子（司書）

4 特集図書コーナー

企画展・特別展や時事に合わせて図書の特集コーナーを設置した。

特集テーマ	会 期	担 当
特集「東京オリンピック・パラリンピック関連図書」	4月1日～10月14日	小宮山めぐみ(司書)
特別展「富嶽三十六景への挑戦 北斎と広重」	4月24日～6月20日	小宮山めぐみ(司書)
企画展「発掘された日本列島 2021」	6月5日～7月4日	井上美奈子(司書)
特別展「大江戸の華ー武家の儀礼と商家の祭ー」	7月10日～9月20日	鳥越千尋(司書)
企画展「相撲の錦絵と江戸文化」	7月17日～9月5日	楯石もも子(司書)
企画展「ひきつがれる都市の記憶ー江戸東京3万年史」	9月18日～12月5日	濱岡智子(司書)
特別展「縄文 2021ー東京に生きた縄文人ー」	10月9日～12月5日	鵜城今日子(司書)
特集「渋沢栄一とその周辺の人びと」	11月2日～12月19日	濱岡智子(司書)
企画展「徳川一門-将軍家をささえたひとびと」	1月5日～3月13日	栗原智久(司書)
特集「2022 新春開運特集」	1月5日～2月13日	濱岡智子(司書)
特集「江戸博 思い出の展覧会図録集」	2月15日～3月13日	濱岡智子(司書)

5 職場体験受入

江戸東京博物館で職場体験の受入をした中学校のうち、下記期間は図書室において、図書配架、図書出納サービス、図書装備、データ入力等の作業を行った。

令和3年11月11日 都立白鷗高等学校附属中学校 3人

VII 教育普及

1 えどはくカルチャー

都市歴史研究室が行っている調査研究活動の成果をわかりやすく解説する講座、特別展・企画展の関連講座、合計45講座を開催した。

期 間 令和3年4月15日(木)～令和4年3月24日(木)

※新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う本館の臨時休館等により4月25日から5月31日までの7講座を中止した。

会 場 大ホール

受 講 料 各講座 一般 800円(一部例外あり)

友の会、ボランティア 600円(同上)

受講者数 4,203人

講 座 数 45講座

春講座 計3回 (353人)

回数	実施日	講座名	講師	参加人数
1	4月15日(木)	庭園×エリアガイド ①清澄庭園と深川	田中実穂	98
2	6月8日(火)	特別展「富嶽三十六景への挑戦 北斎と広重」関連講座 ③「広重－新しい風景画を目指して」	小山周子	127
3	6月23日(水)	文化財をゆったりマニアックに愛でる ②日本橋編	米山勇	128

夏講座 計12回 (937人)

回数	実施日	講座名	講師	参加人数
4	7月6日(火)	「ぬくもりと希望の空間～大銭湯展」の味わいどころ	小林愛恵	51
5	7月13日(火)	特別展「大江戸の華」関連講座 ①甲冑の役割	齋藤慎一	68
6	7月15日(木)	庭園×エリアガイド① 神田川沿いの水と緑 甘泉園公園	田中実穂	83
7	7月27日(火)	特別展「大江戸の華」関連講座 ②ハレの文様	川口友子	67
8	8月17日(火)	特別展「大江戸の華」関連講座 ③江戸の店の祭	小酒井大悟	81
9	8月19日(木)	企画展「相撲の錦絵と江戸文化」関連講座 相撲と錦絵－黄金期の協奏－	春木晶子	96
10	8月24日(火)	特別展「大江戸の華」関連講座 ④華の建築－2つの屏風絵に描かれた建物－	米山勇	95
11	8月31日(火)	特別展「大江戸の華」関連講座 ⑤海外から里帰りした鎧	小酒井大悟	59
12	9月7日(火)	特別展「大江戸の華」関連講座 ⑥女乗物を読む	齋藤慎一	70
13	9月14日(火)	特別展「大江戸の華」関連講座 ⑦郷愁の大江戸－楊洲周延「江戸風俗十二ヶ月」より	小山周子	102
14	9月16日(木)	庭園×エリアガイド② 坂の途中の水と緑 須藤公園	田中実穂	93
15	9月30日(木)	江戸の春夏秋冬－狩野彰信筆「江都四時勝景図巻」の見どころ	朴美姫	72

秋講座 計16回 (1,528人) ※イタリックは外部講師

回数	実施日	講座名	講師	参加人数
16	10月6日(水)	庭園×エリアガイド ① 蓬萊園と浅草橋	田中実穂	86
17	10月12日(火)	特別展「縄文2021」関連講座 ① 特別展「縄文2021」のみどころ	田原昇	83

18	10月14日(木)	特別展「縄文 2021」関連講座 ② 大森貝塚とモースのみた江戸東京	小林淳一	101
19	10月19日(火)	特別展「縄文 2021」関連講座 ③ 縄文の住まいの謎	藤森照信	111
20	11月2日(火)	特別展「縄文 2021」関連講座 ④ 東京に生きた縄文人ー石器編ー	塚田清啓	77
21	11月4日(木)	特別展「縄文 2021」関連講座 ⑤ 東京に生きた縄文人ー海岸部の暮らし編ー	西澤明	81
22	11月5日(金)	特別展「縄文 2021」関連講座 ⑥ 東京に生きた縄文人ー丘陵部の暮らし編ー	丹野雅人	90
23	11月10日(水)	文化財をゆったりマニアックに愛でる ① 日比谷・霞が関編	米山勇	123
24	11月11日(木)	企画展「ひきつがれる都市の記憶ー江戸東京3万年史ー」関連講座 都市の中の歴史をめぐる	津田紘子	79
25	11月12日(金)	北斎を探るー ① 富嶽三十六景に至るまで	小山周子	112
26	11月24日(水)	庭園×エリアガイド ② 隅田公園と墨堤	田中実穂	82
27	12月1日(水)	特別展「縄文 2021」関連講座 ⑦「新しい時代の考古学」	斉藤進	81
28	12月14日(火)	江戸で楽しむ酒とその流通	沓沢博行	113
29	12月15日(水)	文化財をゆったりマニアックに愛でる ② 本郷編	米山勇	138
30	12月16日(木)	月次絵の様相ー当館蔵「江戸四季風俗絵巻」のみどころ	朴美姫	80
31	12月17日(金)	北斎を探るー ② 『葛飾北斎伝』を読む	小山周子	124

冬講座 計14回 (1,335人) ※イタリックは外部講師

回数	実施日	講座名	講師	参加人数
32	1月12日(水)	企画展関連講座「徳川一門ー將軍家を支えたひとびとー」①工芸の美と技	秋間敬代	62
33	1月25日(火)	庭園×エリアガイド ①錦糸公園と錦糸町	田中実穂	72
34	1月26日(水)	文化財をゆったりマニアックに愛でる ①銀座編	米山勇	140
35	2月2日(水)	企画展関連講座「徳川一門展ー將軍家をささえたひとびとー」②徳川宗家伝来の美術	柿澤香穂	73
36	2月3日(木)	書画会の場・両国	小山周子	69
37	2月15日(火)	庭園×エリアガイド ②都市の花籠 向島百花園	田中実穂	96

38	2月18日(金)	菊竹清訓と江戸東京博物館	早川典子	65
39	3月1日(火)	たてもの園セミナー 「縄文 2021」江戸東京たてもの園会場の見どころ	阿部由紀洋	46
40	3月2日(水)	上野・浅草名所めぐりー新収蔵「上野浅草図屏風」をひもとく	寺田早苗	108
41	3月4日(金)	江戸の名所と名料理	沓沢博行	147
42	3月8日(火)	絵に見る朝鮮通信使ー江戸時代の文化交流	朴美姫	110
43	3月15日(火)	書簡にみるモースをめぐる日本の人びと	小山周子 木村早霧	73
44	3月23日(水)	文化財をゆったりマニアックに愛でる ②目白編	米山勇	162
45	3月24日(木)	モースとシーボルトー2大コレクションにみる幕末・明治の日本ー	小林淳一	129

2 国際交流事業

(1) 日中韓博物館国際シンポジウム

東京都江戸東京博物館と中国・北京首都博物館、韓国・ソウル歴史博物館、中国・瀋陽故宮博物館（平成18年度より参加）の4館で首都における歴史博物館の交流の一環として、平成14年度から毎年輪番制で国際シンポジウムを開催している。

令和3年度はソウル歴史博物館で秋に開催の予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となった。

(2) ICOM（国際博物館会議）CAMOC（都市博物館のコレクション・活動国際委員会）会議

令和2年度に開催予定だったICOM CAMOC年次会議が新型コロナウイルス感染拡大の影響により延期となり、令和3年6月9日から11日までポーランド・クラクフ国立博物館にてデジタル開催され、当館職員がオンラインで発表を行った。

発表者：小林淳一

テーマ：「新型コロナウイルスと都市博物館の役割」

また、令和3年度ICOM CAMOC年次会議は令和3年12月1日から3日までバルセロナ市歴史博物館で開催され、当館職員がオンラインで発表を行った。

発表者：岡塚章子

テーマ：「変化する東京」

3 えどはく寄席

日 程 来館者数の多い時期に開催日を絞り、ひまわり寄席・正月寄席・ファミリー寄席を実施した。また、休館前最後となる公演として、「東京大衆歌謡楽団」による昭和の流行歌の演奏会を実施した。

客 数 7,529人

内 容 伝統芸能の継承・普及及び常設展示室の賑わいの演出を目的に、常設展示室5階中村座前で、からくり人形公演、和妻、落語、紙切り、かつぼれ、太神楽、邦楽を実演した。

〔実績一覧〕

(1) 展示室内実施

日付	演目	出演者	観客数
7月10日	江戸芸かっぼれ	桜川ぴん助社中	188
7月20日	からくり人形実演	夢からくり一座	171
7月21日	からくり人形実演	夢からくり一座	221
7月22日	からくり人形実演	夢からくり一座	461
7月23日	からくり人形実演	夢からくり一座	487
7月24日	からくり人形実演	夢からくり一座	389
7月25日	からくり人形実演	夢からくり一座	403
7月26日	からくり人形実演	夢からくり一座	156
7月27日	からくり人形実演	夢からくり一座	195
8月3日	和妻・落語	きょうこ、桂米多朗	132
8月4日	紙切り・落語	林家花、柳亭芝楽	130
8月17日	太神楽曲芸・落語	きょうこ、春風亭笑好	155
8月18日	太神楽曲芸・落語	鏡味正二郎、春風亭柳太郎	120
1月2日	箏と尺八	長岡園美咲・、芦垣皋盟	1480
1月3日	箏と尺八	長岡園美咲・、芦垣皋盟	1363
3月28日	江戸芸かっぼれ	桜川ぴん助社中	1156

(2) 大ホール公演

3月31日	えどはく寄席 ファイナル公演	東京大衆歌謡楽団	322
-------	----------------	----------	-----

4 ふれあい体験教室

ふれあいボランティアが企画・運営する伝統的な文化や芸能の体験型事業だが、今年度は新型コロナウイルスの影響により、年度を通じてボランティア活動を休止したため、ボランティア主体のワークショップは開催しなかった。代わりに、コロナ感染者数が落ち着いた時期に職員によるワークショップを開催した。

実施回数 4回
参加者数 116人

〔実績一覧〕

日程	内容	人数
7月10日	「ならしてみよう歌舞伎の鳴り物」	34
10月30日	「見立番付をつくってみよう！」	22
11月18日	「見立番付をつくってみよう！」	33
1月10日	「新春！書初め体験」	27

5 ミュージアムトーク

日 時 毎週金曜日の16時～16時15分

回 数 計 37回

参加者数 558人

学芸員による展示解説。企画展や常設展示各コーナーにおける展示内容を詳しく紹介した。

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮し、参加人数を20名以内、所用時間を15分に縮小して実施した。

[実績一覧]

日 時	担 当	コーナー・テーマ	人数
4月2日	川口友子	ET1 江戸から東京へ	12
4月9日	川口友子	ET1 江戸から東京へ	8
4月16日	栗屋朋子	企画展「市民からのおくりもの2020」 みどころ	5
4月23日	西村直子	E9 芝居と遊里	11
6月4日	春木晶子	E3 出版と情報	8
6月11日	春木晶子	E3 出版と情報	4
6月18日	西村直子	地域展「江戸の金箔瓦」	1 5
6月25日	西村直子	地域展「江戸の金箔瓦」	12
7月2日	津田紘子	T4 市民文化と娯楽	13
7月9日	津田紘子	T4 市民文化と娯楽	12
7月16日	齋藤慎一	E1 江戸城と町割り	11
7月23日	春木晶子	企画展「相撲と錦絵の江戸文化」	13
7月30日	秋間敬代	T1 文明開化東京	9
8月6日	秋間敬代	T1 文明開化東京	13
10月8日	津田紘子	企画展「ひきつがれる都市の記憶—江戸東京3万年史」	6
10月15日	齋藤 慎一	E1 江戸城と町割り	14
10月22日	齋藤 慎一	E1 江戸城と町割り	18
10月29日	秋間敬代	T2 開化の背景	11
11月5日	鈴木彩加	E2 町の暮らし	20
11月12日	橋本由起子	T6 モダン東京	18
11月19日	津田紘子	企画展「ひきつがれる都市の記憶—江戸東京3万年史」	2 0
11月26日	橋本由起子	T6 モダン東京	20

12月3日	沓沢博行	T8 よみがえる東京	20
12月10日	沓沢博行	T8 よみがえる東京	17
12月17日	鈴木彩加	E2 町の暮らし	15
1月7日	秋間敬代	企画展「徳川一門一将軍家をささえたひとびと一」	19
1月14日	鈴木彩加	E4 江戸の商業	20
1月21日	鈴木彩加	E4 江戸の商業	14
1月28日	齋藤慎一	企画展「徳川一門一将軍家をささえたひとびと一」	20
2月4日	柿澤香穂(公益財団法人徳川記念財団 学芸員)	企画展「徳川一門一将軍家をささえたひとびと一」	20
2月11日	春木晶子	E6 江戸の四季と盛り場	20
2月18日	橋本由起子	T6 モダン東京	20
2月25日	橋本由起子	T6 モダン東京	20
3月4日	沓沢博行	T7 空襲と都民	20
3月11日	沓沢博行	T7 空襲と都民	20
3月18日	西村直子	E8 江戸の美	20
3月25日	齋藤慎一	E1 江戸城と町割り	20

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月30日～5月28日、8月13日～10月1日は中止とした。

6 博物館ボランティア

市民とのコミュニケーションを豊かにし、市民の協力や協働のもとに生涯学習社会にふさわしい開かれた博物館を目指して館の活性化を図るため、江戸東京博物館（本館）では平成9年10月1日、江戸東京たてもの園（分館）では平成8年12月4日からボランティア制度の試行、実施を行った。

本年は、本館243名、分館149名体制であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に伴い、本館、分館共に活動を休止した。

(1) 本館ボランティア

① 登録人数（令和4年3月31日現在）

展示ガイドボランティア 218名

ふれあいボランティア 25名

合計（延べ人数） 243名

② 活動日時

展示ガイド

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に伴い活動休止

③ 活動内容

日本人及び外国人来館者に対する常設展の案内（日本語、英語、中国語、韓国語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、イタリア語）

- ④ 対応件数
新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に伴い活動休止

(2) 分館ボランティア

- ① 登録人数（令和4年3月31日現在） 149名
 ② 活動日時
 火曜日～日曜日（開園日）
 9時45分～17時（4月～9月）、9時45分～16時（10月～3月）
 曜日班に分かれ毎日20～30名で活動
 ③ 活動内容
 茅葺民家の囲炉裏・かまどでの燻煙、来園者へのガイド、たてもの園事業への協力
 ※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に伴い、分館ボランティアは活動休止

7 人材の育成

江戸東京の歴史と文化に関わる情報と博物館に対する理解を深めるため、さまざまな研修等を実施し、人材育成を図った。

(1) 学芸員実習の受入れ

将来の博物館を担う人材の育成と、当館の博物館活動の社会還元のために、学芸員資格取得に必要な博物館実習を受け入れた。

申込数 35校
 受入者数 20名
 期間 令和3年11月24日（水）～12月2日（木）

カリキュラム

	実施日	スケジュール	実施内容	実施形式	担当係
1	11月24日 （水）	午前	【オリエンテーション】展示事業係長挨拶、実習担当者紹介、実習生自己紹介、諸注意、保険料徴収		展示事業係
			【江戸東京博物館の概要】	講義	副館長
		午後	【博物館の現状と課題】	講義	展示事業係
			【常設展示・教育普及活動】常設展示、教育普及、ボランティア	講義	事業企画課長
			【事務連絡・担当作品選定】		展示事業係
【常設展示見学・解散】動線確認・見学	見学	展示事業係			
2	11月25日 （木）	午前	【朝会】日誌回収、事務連絡		展示事業係
			【資料の収集と保管】資料の収集と保管	講義	資料係
			【バックヤード・収蔵庫見学】見学	見学	資料係
		午後	【資料の収集・撮影・保管】資料カード作成、掛軸・巻子の扱い、写真撮影	実習	展示事業係
			【事務連絡】		展示事業係

3	11月26日 (金)	午前	【朝会】 日誌回収、事務連絡		展示事業係
			【特別展・企画展】 展覧会の作り方、 展示実習について	講義	展示事業係
		午後	【展示実習】 図書室の使い方	講義	司書
			【展示実習】 準備構想（展覧会基本計 画の立案、チラシ作成、キャプショ ンの概要）	実習	展示事業係
	【事務連絡】 事務連絡（たてもの園実 習について）		展示事業係		
4	11月30日 (火)	午前	【朝会】 日誌回収・事務連絡		展示事業係
			【たてもの園】 概要・普及事業	講義	たてもの園園 長
			【たてもの園】 課題の説明と園内見学	実習	たてもの園係
		午後	【たてもの園】 グループワーク	実習	たてもの園係
			【たてもの園】 グループワーク発表、 講評	実習	たてもの園係
【事務連絡】		展示事業係			
5	12月1日 (水)	午前	【朝会】 日誌回収、事務連絡、展覧会 基本計画・チラシ案提出		展示事業係
			【展示実習】 展示準備（キャプション 等）	実習	展示事業係
			【展示実習】 展示構想検討会1	実習	展示事業係
		午後	【展示実習】 展示酵素検討会 2 【展示実習】 展示準備（展示方法解説・ 演示具選定）	実習	展示事業係
			【事務連絡】 事務連絡		展示事業係
6	12月2日 (木)	午前	【朝会】 日誌回収、事務連絡		展示事業係
			【展示実習】 展示作業（資料搬入・演示 具搬入・展示作業）	実習	展示事業係
		午後	【展示実習】 展示作業（資料搬入・演示 具搬入・展示作業）	実習	展示事業係
			【展示実習】 発表、講評		
			【片付け】 片付け	実習	展示事業係
【学芸員実習まとめ】 反省会、事務連 絡		展示事業係			

(2) 博学連携

当館の入館者増とリピーターの確保及び平成14年度から実施された完全学校週五日制と「総合的学習」に対応するため、博物館と学校との連携事業を展開した。当館を学習の場として希望する生徒を対象に「訪問学習」を実施した。

今年度は、コロナ禍という状況を配慮し、オンライン等による対応も行った。

(訪問学習の実施)

参加学校数 5校

(3) その他の研修受入れ

- ① インターンシップ(令和3年7月～令和4年2月)
参加人数 1名

- ② 首都大学東京現場体験型インターンシップ
参加人数 3名

VIII 施設維持管理・貸出等

1 博物館管理運営東京都江戸東京博物館（本館及び分館）の指定管理者として、館の円滑な管理運営を図るため、各種会議・委員会を開催した。

(1) 東京都江戸東京博物館運営委員会

館の運営及び事業活動について、広い視野から助言を得、適正かつ円滑な館運営に資するため、東京都江戸東京博物館運営委員会を設置している。令和3年度は新型コロナウイルス感染症の状況に鑑み、開催しなかった。

- 令和3年度第1回東京都江戸東京博物館運営委員会復元建造物部会
今回は書面による開催となった。

審議事項

- ・奄美の高倉ほか3棟 長期修繕計画に基づく修繕工事实施設計について

- 東京都江戸東京博物館運営委員会復元建造物部会専門委員（令和4年3月末現在）
部会長 中谷 礼二（早稲田大学理工学術院創造理工学部教授）
専門委員 津村 泰範（長岡造形大学造形学部建築・環境デザイン学科准教授）
専門委員 山崎 鯛介（東京工業大学博物館教授）

(2) 外部評価委員会

当該年度の事業実績につき、設定目標が効果的に実行されているか館内部において自己評価し、事務改善に結び付けるために内部評価を行うとともに、その内部評価による事業実績報告について、客観的な視点から、検証を行うため外部評価委員会を設置している。

- 令和3年度東京都江戸東京博物館外部評価委員会
今回はオンラインによる開催となった
内 容 1 令和2年度外部評価総合評定について
2 令和3年度事業計画について

- 東京都江戸東京博物館外部評価委員会委員
委員長 半田 昌之（日本博物館協会専務理事）
委員 杓 澤 宣賢（東海大学名誉教授）
委員 村 田 孝子（美容考古学研究所）
委員 後 藤 治（工学院大学教授）
委員 児 島 薫（実践女子大学教授）

○ 令和3年度江戸東京たてもの園外部評価委員会

今回は書面による開催となった。

- 内 容
- 1 令和2年度外部評価総合評定について
 - 2 令和3年度事業計画について

○ 江戸東京たてもの園外部評価委員会委員（令和4年3月末現在）

- 委 員 安 西 香 月（三鷹の森ジブリ美術館館長）
委 員 小 沢 朝 江（東海大学教授）
委 員 小 野 一 之（府中市郷土の森博物館館長）
委 員 藤 井 恵 介（東京大学名誉教授）
委 員 藤 本 裕（小金井市教育委員会生涯学習部長）

2 本館維持管理

東京都江戸東京博物館の施設・設備及び物品の維持管理、観覧料等の徴収事務、利用者サービス業務等を行った。

貸出施設は伝統文化の発信の場として、多くの都民の方々が伝統芸能の魅力や文化と歴史に触れることができるよう自主企画公演を開催した。

江戸及び東京の歴史と文化の振興に資する講演会、講習会、研究会、鑑賞会等を実施する団体や伝統芸能団体と一般の団体に対し貸出した日数は、次のとおりであった。

大ホール193日、小ホール172日、会議室105日、学習室（合計）158日、
特別展示室179日

3 たてもの園維持管理

江戸東京たてもの園の施設・設備及び物品の維持管理、観覧料等の徴収事務、利用者サービス業務等を行った。

4 野外収蔵（庭園保全管理）

江戸東京たてもの園内の庭園保全のため、植栽の維持・管理業務等を行った。

5 AVシステムの運営

「館内CATV」「文字ディスプレイ」及び「展示解説システム」により施設・催事案内や常設展示の解説を行った行うとともに、「映像ライブラリー」において江戸東京に関連する映像ソフトを提供した。

〈映像ライブラリー〉

設置ブース数	14台（最大28人同時利用可）
映像ソフト数	456タイトル（平成24年3月31日現在）
アクセス回数	1,127回

「映像ライブラリー」では、特別展・企画展や年中行事等に合わせ、毎月5作品ずつ「おすすめ作品」を選定している。館内各種案内映像とちらしで紹介し、利用の活性化を図っている。

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、席数を半分にして運営した（端末7台）

Ⅸ 広報事業

1 本館

種別	名称	実績
館内案内	江戸東京博物館 案内リーフレット	日本語版 31,500部 英語版 20,000部 フランス語版 5,000部 ドイツ語版 5,000部 スペイン語版 5,000部 中国語・簡体字 5,000部 中国語・繁体字 5,000部 韓国語版 5,000部 合計 81,500部
定期刊行物	江戸東京博物館ニュース	日本語版・英語版年3回発行 日本語版 計 120,000部 英語版 計 21,000部
取材対応		新聞・テレビ番組などによる取材に対応した。 対応件数 301件
インターネット ホームページ	日本語版、英語版、中国語版、 ハングル版	わかりやすいホームページの運用を目指した。 アクセス件数 6,007,768件
スマートフォン サイト	日本語版、英語版、中国語版、 ハングル版	ホームページと連動したスマートフォンサイトでの情報発信
その他の広報	PR活動	企画展プレス内覧会 4回
	有料広告の出稿	SNS広告 20日間
	ソーシャルメディアの活用	Twitterフォロワー数 32,288人 Facebookフォロワー数 1,896人

2 分館

種別	名称	実績
館内案内 ガイド	江戸東京たてもの園 案内リーフレット	日本語版 0部 英語版 0部 中国語版(簡体字) 0部 中国語版(繁体字) 0部 韓国語版 0部 合計 0部
定期刊行物	たてもの園だより	年2回発行 延22,000部

取材対応		新聞・テレビ番組などによる取材に対応した。 対応件数 140件
その他広報	有料広告の出稿	歴史系雑誌に展覧会の情報を掲出
	ソーシャルメディアの活用 (令和4年3月末現在)	ホームページアクセス件数 7,307,555件 Twitterフォロワー数 26,324人 ブログ、ツイッター、フェイスブックにて随時情報発信

3 読売新聞「江戸博 蔵めぐり」掲載実績

回	掲載日	執筆者	資料名	タイトル
1	4月3日	寺田早苗	「雨華庵」額	創作育んだ交流の場
2	4月17日	眞下祥幸	紅葉山八講法会図巻	家康の百三十回忌盛大に
3	4月24日	栗屋朋子	竹沢藤次 曲独楽	見世物の凝った演出描く
4	5月15日	小山周子	東海道五拾三次之内 原 朝之富士	朝焼け 壮大な富士山
5	5月22日	岩崎茜	富嶽三十六景 深川万年橋下	弧を描く橋 遠くに富士
6	5月29日	岩崎茜	名所江戸百景 深川万年橋	北斎意識 亀越しの富士
7	6月5日	西村直子	伏見城松ノ丸出土 唐草文軒平瓦	金箔瓦 家康が再建
8	6月19日	橋本由起子	自動式電話交換の良し悪しは使い方一つ (ポスター/通信省発行 1925-26)	電話のかけ方丁寧に
9	6月29日	秋間敬代	新版 運動雙六	運動会を疑似体験
10	7月6日	鈴木彩加	疱瘡請負 軽口ばなし	病気治療願う 赤い絵本
11	7月17日	小酒井大悟	獅子頭	雌雄一対 繁盛願い奉納
12	8月21日	春木晶子	江都勸進大相撲横正面図	熱狂生み出す遠近法
13	8月28日	小酒井大悟	四神像	彩色豊かに繁盛祈願
14	9月4日	川口友子	水浅葱絹縮浜松に桜燕模様染縫振袖	文様のテーマ 忍ばせた「謎」
15	9月18日	秋間敬代	東京府御酒頂戴江戸橋日本橋風景	「天盃頂戴」沸く市民
16	9月25日	鈴木彩加	蒸気船中 車道具之図 並ニ 黒船之図	「黒船」瓦版 想像交えて
17	10月2日	春木晶子	三国第一山之図	富士山信仰 背景に社会不安
18	10月16日	津田紘子	東京オリンピック選手村英文案内図	広大な敷地 劇場、サウナも
19	10月23日	岩崎茜	土偶（縄文時代後期 板橋区赤塚城址貝塚出土）	多様な姿形 願い込める
20	11月6日	津田紘子	東京空撮写真 両国付近	戦後9年 復興遂げる街
21	11月20日	岩崎茜	石鏃（縄文時代晩期 調布市下布田遺跡出土）	「有茎石鏃」狩猟具の主流に
22	11月27日	阿部由紀洋	貝輪（縄文時代後期から晩期 茨城県稲敷市・広畑貝塚出土）	希少な貝 憧れの装飾品
23	12月4日	西村直子	白麻地花菱立涌牡丹模様鎧下着	女性の単衣を鎧下着に

24	12月18日	鈴木彩加	「のぼせ引さげ五臓圓」引札 江戸時代後期	強壯剤宣伝 鬼退治で表現
25	1月22日	齋藤慎一	白羅紗葵紋付陣羽織 徳川慶喜所用	威勢物語る豪華な裏地
26	1月29日	杳沢博行	電気蓄音機 (1929年)	国産 富裕層や名曲喫茶に
27	2月5日	秋間敬代	黒塗牡丹紋散松唐草蒔絵雛道具 江戸時代後期	牡丹紋 篤姫所用か
28	2月19日	津田紘子	ポスター「赤玉ポートワイン」 (1924年)	モダンガール 斬新な広告
29	2月26日	鈴木彩加	『都風俗化粧伝』 佐山半七丸/著 速水春斎/画	美容の書 100年以上重版
30	3月5日	西村直子	梅樹下の男女 見立玄宗皇帝楊貴妃	一つの笛 持ち合う恋心
31	3月19日	春木晶子	絵草紙屋模型 復元年代 1797年頃	役者や美人 旬の顔そろえ
32	3月26日	橋本由起子	和洋折衷住宅	文化調和 モダン山の手